

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスらしさ			
○保護者評価実施期間	2023年 12月 1日 ～ 2023年 12月 27日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2023年 12月 1日 ～ 2023年 12月 27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達に寄り添った共感的な支援が出来ている。また、保護者とコミュニケーションが取れており、お子様のことについて、しっかり相談が出来ている。	子ども達の今の状態をしっかり観察し、支援内容にフィードバックをするようにしています。児童発達支援管理責任者に支援内容を確認しながら、丁寧な支援を心がけています。	子ども達にとっての最善とは何かを考えながら、児童発達支援管理責任者の指導のもと、よりよい支援が出来るよう、職員間で話し合いを進めていきます。
2	子ども達が安心感を感じながら、楽しく通所できている（児童・保護者の満足度が高い）。	日々変化していく子ども達をチームで支援することにより、安定した支援が出来るように、毎日の配置を工夫しています。	子ども達に必要な療育が出来るよう、イベント等を考えていきたいと思っています。
3	送迎時の急な変更等、予定とは異なった場合でも柔軟に対応できるよう、職員間及び保護者の方としっかり連携できるような情報を共有しあっています。	保護者の方よりお子様の状態について詳細に連携を取ってもらっている。また施設でも気が付いたことは、速やかに保護者の方へ共有するようにしています。	職員間及び保護者の方と連携できるよう、ICTを上手に活用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の活動様子の詳細な共有ができていない。	現在、「らしさ通信」という社報にて、活動内容と写真をご連絡しているが、自己評価アンケートにて、保護者の方より「もう少し細やかに関わりや子どもの反応をお知らせ頂けるとより良い」とのご意見をいただいた。	今後は保護者と日々やりとりするシステム「HUG」を使って、写真や活動の様子をより多く発信していく。
2	非常時の対応や安全確保についての取り組みについて、保護者の方へ情報がしっかり伝わっていない。	災害時、緊急時対応等マニュアルは整備されているが、保護者の方へしっかりと情報が伝わっていないことが自己評価アンケートより分かった。	保護者の方へ個別で伝えていくとともに、SNSを活用して情報を発信していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスらしさ
------	---------------

公表日 2024年 1月 15日

利用児童数

33

回収数

27

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	5	0	1	・広いお部屋で毎回ボール投げをするのが楽しいそうです!	お子様が過ごしやすいように日々スタッフと工夫をしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	2	0	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	1	1	2	・学習をする部屋が分かれていたり、興奮した時にクールダウンできるよう別室があるのはいいなと思っています。	クールダウンに関しては、状況によって部屋の単独使用が難しかったりする場合もある為、複数の対応策を提案させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	1	1	・子供がいつも楽しみにしていて満足しています。	今後も、清潔で心地よく過ごせる環境を意識し、整備してまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	1	3	本人が嫌がっているタイミングも、決して無理強いせず、話を聞いてくださり、本人を説得して療育に参加させてくださっています。子供が楽しんでいるので何よりです。	今後もひとりひとりのお子さまの気持ちや意思を尊重した療育を提供できるよう、それぞれの専門性を活かして意見交換を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	2	4		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2	2	2	支援は個に応じて他の事業所と比べてみても、とても細かく計画していただいていると感じます。	毎回のご利用の様子を職員間で振り返り、事業所外でのご様子を面談等でお伺いし、今後も職員で課題を分析しそれぞれのお子さまにあった支援ができるよう努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	4		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	6	1	4		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	17	4	・わかりません。	他所との交流は、保護者の方のご要望をお伺いしながら検討します。
評	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	0	2	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1	2	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	17	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2	0	4	・日頃から、少し変わった様子などがあればすぐに教えてくださっています。	現状より詳細にお伝え出来るようにシステムを見直して努めていきます

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2	0	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	2	1	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	6	4	1	・相談、質問への対応はすぐにしてくださっています。	迅速に対応できるように今後の意識して参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	5	3	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	3	1	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	2	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	3	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	6	3	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1	1	0	・いい意味で緊張感ゼロです！	利用されている皆様に安心感を感じていただけるよう、より良い事業所を目指していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	0	0	・いつも楽しそうにしています!嫌がったことは一度もありません。	新しい事も増やしてより楽しく感じてもらえるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1	1	2	・通所日の状況について、取組みの箇条書きだけでなく、もう少し細やかに関わりや子どもの反応をお知らせ頂けるとより良いと思います。	詳細なお伝えを現在スタッフと話し合いさせて頂いております。決まったことはご報告させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスらしさ				公表日	2024年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	2			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	13	2		配置数は適性ですが、より良いサービス提供のため、施設が考える必要な人員の採用を進めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	4	・ 階段の上り下りの際に、手すりを持って一列で上り下りするようにしています。 ・ どこに何が置いてあるか目印があるので分かりやすい。絵カードなど目で見て分かる工夫がされている。	今後起こりうるケースなども想定したうえで、可能な限り適切な環境の配備を行なっていければと考えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	2	・ こまめに消毒をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	2			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	2		パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やしていければと考えています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	4		パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やしていければと考えています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	9		第三者による外部評価の導入を検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	1	・ 研修の機会や期間は程よく行われている。 他の事業所の職員と関わる機会も多く、職員同士が仲良くなれたりたくさん勉強できている。	外部の講習にもっと参加したいとの希望があったため、外部講習の機会を増やせるようにしていければと思います。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	2			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	1	・ 子ども達の事に関して大事なことを伝えて貰えるので、そこに対しては職員も目を向けています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	・ 必要に応じて話し合い共有し支援に繋げている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	3			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	3			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	2		やや固定化してきているので、もう少し子どもと関わってどんな事をすれば療育に繋がるかを考えていきたいと思います。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	1			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	・ ミーティングは定着している。	パートの方も含めてミーティングできる時間をより増やしていければと考えています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	・ 終了直後にミーティングが出来ない時でも、気になる事などはすぐに報告したり、翌日に振り返りの時間を設けている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1	・ より具体的な記録を書けるよう、まずは子どもたちと関わって信頼関係を築いていくためにゆっくりと時間を設けてくれている。		

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	12	3	・子ども達を尊重して支援しています。	地域交流が不足しているという意見があった。このことについては保護者の方の意見を聞きながら進めていきたいと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	3	・自分で考え、伝える事の大切さを日々導くように声かけをしています。 ・子どもたちがしたいことや思っていることができるよう、子どもとコミュニケーションを取りながら言いやすい、しやすい環境作りになるよう工夫されている。言葉で上手く伝えられない子どもにはエカードなど選択できるような工夫されている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	7		他所との交流は保護者の方の希望をお聞きしながら検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	7		（自立支援）協議会等へ参加を検討します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	1	・送迎の時出来事や褒めてあげてほしいとかなどお伝えしています。保護者の方からお話がある時はお聞きして持ち帰るようにしています。	現在どのように行えるかをスタッフと改善策を考えており、決まり次第保護者様にお伝えさせていただきます。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	1		保護者の方に加え、児童の意向をしっかりモニタリングし、対応できるようにしていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	14	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	1		情報発信について検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	1		保護者の方のご要望をお伺いしながら検討します。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	4		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	4		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	2	・保護者から伝えてもらい対応 ・保護者様からの指示のもと対応している。	引き続き保護者の方と相談しながら、対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1		職員にも分かりやすく情報を共有いたします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0		職員にも分かりやすく情報を共有いたします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	0		保護者の方へ、契約時にお伝えしているが、必要に応じて説明をさせていただく。また身体拘束適正化について、社内で定期的に話し合いを行っていきます。